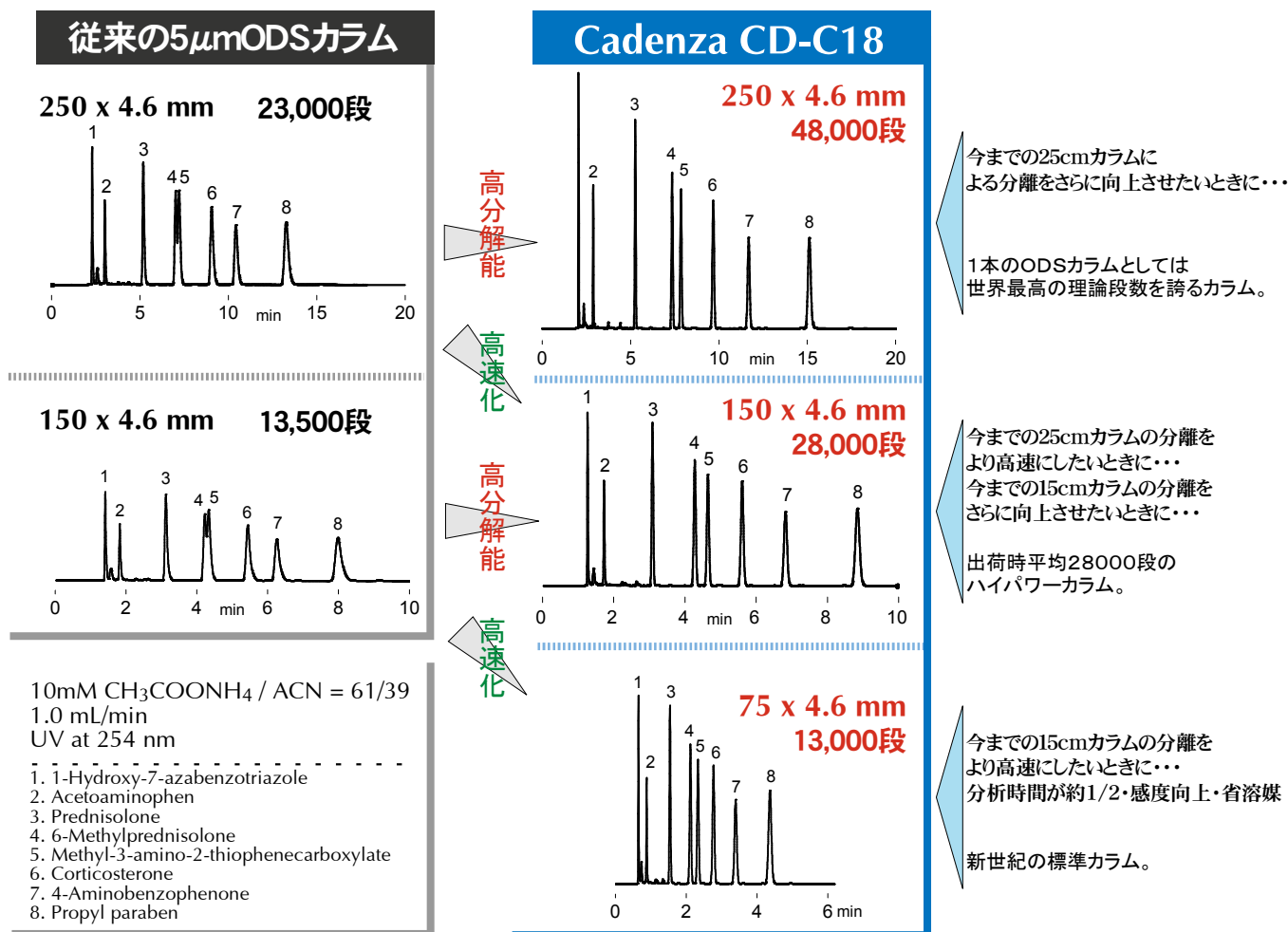


Cadenza CD-C18 250 x 4.6 mm 150 x 4.6 mm 75 x 4.6 mm Technical

カラム性能の変革



Cadenza CD-C18は新世紀のLC分離を意識して設計されています。従来の伝統的なカラムサイズによる分離性能は、Cadenzaに置き換えることにより驚くほどの改善が期待できます。

Cadenzaを典型的な従来カラムと比較すると以下のように大別されます。

■高分解能

上記の例のように、同じカラムサイズの場合、従来に比べて約2倍の性能を示すことも可能です。理論段数が高く、さらに固定相の分子認識能も改善されていますから、同一サイズでも従来にない高性能分離が期待できます。特に 250 x 4.6 mm カラムは、出荷時平均で 48,000段/カラム という圧倒的な高分解能を発揮します。

■高速化

LC分離のひとつのトレンドである「高速化」にも高性能カラムCadenzaが威力を発揮します。

すなわち、従来のカラムよりも短い長さで同等の分離が可能であり、その結果、「分析時間短縮」や「溶媒消費量削減」、「メソッド開発の効率化」などに極めて有効です。